会場

重要文化財 安積歷史博物館（あさかれきしはくぶつかん）
旧福島県尋常中学校

2016年10月　開催予定

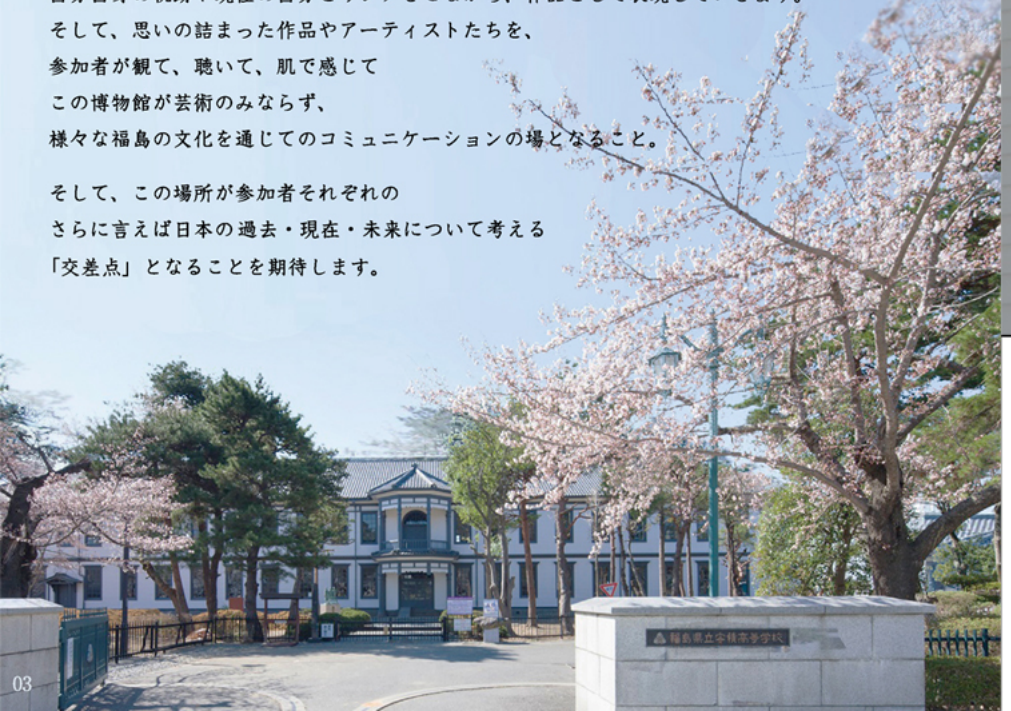
会場となるのが、郡山の歴史的な史跡が多く残る開成地区にある、安積歴史博物館。

旧福島県尋常中学校として県下の高等教育の中枢となる重要な役割を担っていた場所でした。
明治22年、現存の鹿鳴館風の優れた建築である本館が建造され、
昭和52年に国の重要文化財に指定され、昭和59年、博物館として整備・一般公開されました。

しかし、平成23年3月11日「東日本大震災」により、内部の漆喰壁が多量に崩れ落ち、
復旧工事完了までに2年7ヶ月を要し、ようやく一般公開を再開いたしました。

この歴史を象徴する場所で、アーティストたちがこの地から得たインスピレーションを
自分自身の軌跡や現在の自分とリンクさせながら、作品として表現していきます。
そして、思いの詰まった作品やアーティストたちを、
参加者が観て、聴いて、肌で感じて
この博物館が芸術のみならず、
様々な福島の文化を通じてのコミュニケーションの場となること。

そして、この場所が参加者それぞれの
さらに言えば日本の過去・現在・未来について考える
「交差点」となることを期待します。



明治以前、荒涼とした原野が広がっていたという郡山。
武士の時代が終わりを告げ、明治政府による国営事業の
第1号として「国営安積開拓（あさかかいたく）」事業が開始されました。
もともとは水利の悪かったこの土地に、山を越えて猪苗代湖から水を引き、豊かな街を拓く
という壮大な事業を完遂させるため多くの人々が協力し、現在の郡山の礎を作った言われています。
安積歴史博物館の敷地内には県立安積高校の校舎があり、旧尋常中学校の歴史を受け継ぐ安積高校
の校訓には、「開拓者精神」という言葉がいまでも脈々と安積開拓時代の先人たちから受け継がれて
いるそうです。